

読者の皆様へ

『偕行』編集の

一部変更について

編集委員会

薫風香る中で、「令和」の御代になりました。日本の社会も働き方改革や消費税引き上げに向かいつつあります。偕行社も、森理事長が就任され、理事・会員の新旧交代が進み、編集委員が交代する等、新しい息吹が感じられます。また、新たな読者・会員として現職自衛官を開拓する方向も打ち出されました。

そうした情勢で、偕行誌の編集者一同、積み残された課題を整理していきたいと考えます。

課題の一つが、個人情報の保護に関する問題です。偕行社は平成20年、それまでの「互助親交」主体の「同窓会的な団体」（山本会長 22年1月号）から、公益財団法人に変更されました。その結果、各期生会・各地偕行会等の連絡・親睦を図る「花だより」を別冊とし、本冊を公益目的誌とすることになりました。しかし現状は、必ずしもそうなっていない。

個人情報保護が義務付けられる中で、会員の計報、叙勲のお知らせ、白寿のお祝い等が本冊に掲載され、また

8月号に元自衛官の会員名簿を掲載してきました。

個人的お祝いや、入会促進の必要性もあることから、当分の間は、会員の計報、叙勲のお知らせ等は、別冊に移して掲載します。元自衛官の会員名簿は、掲載をやめます。

これにより本冊は、公益目的誌としての性格を明確にし、国防・慰霊について国民を啓発する性格を正面に打ち出し、新しい読者層の開拓に寄与して行きたいと考えます。

課題の二つ目は、偕行事業費の収支均衡への寄与という点です。偕行誌の予算は全体の2割程度ですが、現状の本冊52〜60頁、別冊・花だより・つどい等8〜16頁での毎月発刊を続け、誌面の有効活用に努めていきたいと考えます。

以上の点を、読者・執筆者・各期花だより担当者にご理解いただき、引き続きご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

会員数

(5月23日現在)

従前会員	1,516
元自会員	3,028
家族会員	706
賛助会員(個人)	180
(法人)	31
	5,461